

## 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2023年3月17日

事業所名 なぎさ園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	基準以上の面積を確保しています。また、おやつや制作等人数が多い場合には、密集しないように部屋をわけて活動する様に工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	必要に応じて職員の人数の増減はありますが、基本的に子ども2人に対して指導員1人に対応しています。また状況に応じて1対1の支援を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	ガイドラインに沿って、修繕や工夫で出来るバリアフリーは行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	日々の活動が終わり日誌を書く時間や、月1回の職員会議で、振り返りや支援方法を話し合っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者の方にアンケート調査を実施し、その意見を参考にして改善点を話し合っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページにて公開し、改善に努めています。

⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	他事業所の方の意見や助言を参考にし、業務改善に努めています。	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	全体の職員会議や事業所の職員会議の中で、研修の機会を設けています。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	モニタリングやお迎え時の申し送りの際に保護者の方にニーズ等を聞いて、職員と話し合いながら作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	個別支援計画や利用者登録カード、アンケート等をもとに支援を行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	常勤職員と話し合っってプログラムを考えています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	大枠のプログラムは決まっていますが、季節の制作やイベント、公園の場所を変えるなど工夫を行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日と長期休暇ではプログラムの内容を変更して支援しています。長期休暇時は、園から外に出て社会の中のルール等を身につけてもらえるような支援をしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別で取り組む課題と集団で取り組む課題に分け、両方が体験できるようにプログラムを考えています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援が始まる前にその日の活動や担当の子どもについて確認してからプログラムに臨んでいます。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後職員会議を行い、その日の振り返りを行っています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日日誌や個別ファイルにて記録を取り、次の日に確認して支援の検討・改善につなげています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	相談支援のモニタリングに参加し、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	ガイドラインに沿って支援を行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	その子どもに詳しい職員が参加できるようにしています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校へのお迎え時に、先生とお話をして情報共有を行っています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在は医療的ケアが必要な子どもを受け入れていませんが、必要に応じて体制を整えています。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	児童発達支援事業所との情報共有を行い、相互理解に努めています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	保護者の方や他事業所の必要に応じて、情報共有を行っています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援センターと連携・情報共有し、助言を受けています。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	コロナウイルス感染症が流行しているため、他の団体等との交流は控えています。感染症が収束し次第、交流を図っていききたいと思います。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	協議会には法人組織の上長が参加し、常勤職員と内容等の情報を共有しています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	お迎え時の申し送りの際に、子どもの状況について保護者の方と話し合い共通理解を持つように努めています
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	現在はペアレントトレーニングは行っていませんが、必要に応じて行える体制づくりに努めています。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明・確認等を行っています。

保護者への説明責任等	③① 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	お迎え時の申し送りやモニタリングの際に、相談に応じて必要な助言や支援を行っています。
	③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	コロナウイルス感染症が流行しているため、保護者同士の交流は控えています。感染症が収束し次第、企画していきたいと思います。
	③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情があった場合には速やかに職員全員に共有し、対応に努めています。
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2か月に1度おたよりを発行しています。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	個人情報の管理の仕方や写真の取り扱いについては、職員間でしっかり確認し十分に注意しています。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	写真カードやサインを使って子どもたちとの意思の疎通を図っています。また、保護者の方には申し送りの際に情報を伝達しています。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	コロナウイルス感染症が流行しているため、現在は控えています。今後、収束し次第行っていきたいと思います。
	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	掲示や職員会議等により周知しています。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月1回地震・火災・洪水時の避難訓練を行っています。また、消防署の方を呼んで通報訓練、消火訓練を行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	職員会議で研修を行い、セルフチェックも行っていきます。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	契約時に保護者の方に説明し、理解してもらっています。また支援計画にも記載していません。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーのある子どもの保護者の方には、利用者登録カードや書類に記載してもらい対応しています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットが起こった時には報告書を作成し、職員会議等で情報共有しています。